

熱中症対策 事例集

業種：運輸業（港湾運送業）

本社所在地：神奈川県横浜市

取材地：東京都江東区

従業員数：1,000～4,999名

概要：港湾運送事業、海上運送事業、貨物利用運送事業、一般貨物自動車運送事業、倉庫業等

特に配慮している事項

港湾運輸事業の大手企業です。重量物輸送の先駆けとして、船内やコンテナ内などの特殊な環境に応じた熱中症予防対策を行なっています。

基本的な取り組み事項

- 作業内容に柔軟に対応。
 - 会社として元気な挨拶等のコミュニケーションが大事だという認識を持っており、パトロール時や朝礼時を含め、作業員の体調の変化をきめ細かく観察。
 - 作業員同士で相互確認し、異変に気付いたら直ちに責任者へ報告するよう指導。
 - 凍らせたペットボトル飲料および経口補水液を常時用意。

1. WBGT 値（暑さ指数）の活用

(1) WBGT 値の実測

- WBGT 値を責任者が倉庫入口付近及び本船内において常時測定している。
- 朝礼のタイミング及びアラームが作動した際に確認している。



WBGT 指数計の設置

2. 熱中症予防対策

(1) 作業環境管理

① WBGT 値の低減等

- 作業場所にスポットクーラーや業務用扇風機を設置している。

② 休憩場所の整備等

- 休憩場所にクーラー、飲料自動販売機を常設している。



スポットクーラー・業務用扇風機の設置



休憩場所に飲料自動販売機の設置

(2) 作業管理

①水分及び塩分の摂取

- 休憩をこまめにとり、水分・塩分を摂取している。
- 瞬間冷却スプレーなどを用意している。
- 休憩時等に凍らせたペットボトルを握り、体温を下げている。
- 上屋内の冷蔵庫で凍らせたペットボトル飲料および経口補水液を用意している。



凍らせたペットボトルを常備

②作業中の巡視

- 職員及び作業会社の責任者が巡視を行い、作業者の顔色・行動の確認をしている。
- 安全掲示板を設置して熱中症に関する注意喚起をしている。
(特に高温部がある作業場所については注意を促している)



<安全掲示板(危険予知活動表)記載内容>

- ・日付/記入者
- ・グループの作業内容
- ・どこにどんな危険が潜んでいるか
- ・だから私達はこうします
- ・今日の行動目標
- ・グループ名/リーダー名/従業員数

(3) 健康管理

①日常の健康管理等

- 体温測定を義務付けている。
- 毎日、朝礼や作業前ミーティングで健康状態の確認を行っている。

(4) 労働衛生教育

- 労働衛生教育を適宜行っている。
- 熱中症予防の新しい情報がある場合には、その都度作業関係者にメールで共有するとともに、朝礼や作業前ミーティングで全員に教育している。

(5) 救急処置

- 緊急時には、直ちに救急車を呼ぶよう指導している。
- 救急救命講習を受講している者が在籍している。
- 熱中症キット（経口補水液、瞬間冷却スプレー、瞬間冷却剤）や塩飴を準備している。



熱中症キットの準備